

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月12日

上場会社名 株式会社 テーオーシー

上場取引所 東

コード番号 8841 URL <http://www.toc.co.jp/toc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大谷 卓男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事務管理部門担当 (氏名) 羽廣 元和

TEL (03)3494-2111

四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,034	—	1,712	—	1,717	—	995	—
20年3月期第1四半期	5,174	20.4	1,614	19.2	1,503	15.4	933	21.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	7.32	—
20年3月期第1四半期	6.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
21年3月期第1四半期	119,277	—	65,522	—	54.5	478.41
20年3月期	118,343	—	64,664	—	54.2	472.03

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 65,055百万円 20年3月期 64,190百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	10,150	△0.8	3,150	△3.1	3,000	0.0	2,400	61.3	17.65
通期	20,900	△2.0	6,500	△3.8	6,000	△3.3	4,000	51.6	29.41

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 136,879,352株 20年3月期 136,879,352株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 895,110株 20年3月期 892,561株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 135,985,558株 20年3月期第1四半期 136,075,694株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記、平成21年3月期の連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における当社グループの主力事業であります、不動産賃貸事業におきましては、景気の先行きに減速感が広がっているものの、オフィスビル市況では引続き需要が底堅く、賃料相場も上昇スピードが緩やかになりつつあるとはいえ堅調に推移しております。一方、商業ビルにおきましては、物価上昇等に伴う個人消費の低迷感、さらに、施設間の競争の激化から、厳しい事業環境下となっております。

このような状況下、第1四半期における連結ベースでの売上高は5,034百万円(前年同期比2.7%減)となり、経常利益は1,717百万円(同 14.2%増)、第1四半期純利益は995百万円(同 6.6%増)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

不動産事業におきましては、各ビルの特性、付加価値性を活かした営業活動を行い、賃料水準の見直しを図ってまいりました。その結果、売上高は3,773百万円(同 6.2%増)となり、営業利益は1,759百万円(同 13.6%増)となりました。

リネンサプライ及びランドリー事業では、売上高は462百万円(同 1.5%減)となり、営業利益では燃料費の高騰が収益を圧迫し2百万円(同 63.6%減)となりました。

その他の事業では、前年同期に収益に寄与したビル管理関連サービス事業における「TOC有明」関連等の売上をカバーすることができず、また、製菓事業、商品販売事業等では予想以上に市場環境が厳しく減収となり、当事業での売上高は799百万円(同 30.6%減)、営業損失は51百万円(前年同期は営業利益56百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前期末に比べ933百万円増加し119,277百万円になりました。

純資産につきましては、四半期純利益995百万円の計上及び株主配当金の支出等により65,522百万円となりました。自己資本比率は前期末の54.2%から54.5%となりました。

(キャッシュ・フローの概要)

第1四半期における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前第1四半期末に比べ1,673百万円増加し、第1四半期末残高は7,125百万円となりました。

営業活動により得られた資金は3,516百万円(前年同期比 175.4%増)となりました。

主な内訳は、増加要因として税金等調整前四半期純利益1,711百万円、減価償却費512百万円及び長期営業貸付金の減少2,750百万円、減少要因は法人税等の支払額1,103百万円等であります。

投資活動により支出した資金は3,026百万円(同 52.7%増)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出2,672百万円、投資有価証券の取得による支出282百万円であります。

財務活動により得られた資金は315百万円(同 65.1%減)となりました。

主な内訳は、増加要因としては長期借入れによる収入2,000百万円の計上であり、減少要因は短期借入金の減少(純額)1,180百万円、配当金の支払額472百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年5月13日発表の連結業績予想を下表のとおり修正いたします。企業業績の低下、個人消費の低迷等による景気後退の局面を受け、各事業部門において売上が鈍化傾向にあり、第2四半期連結累計期間の業績予想におきましては売上高、営業利益が、通期では売上高、営業利益、経常利益が当初予想を下回る見通しとなりました。しかし、当期純利益におきましては、平成20年6月17日発表の「区分地上権の設定に関するお知らせ」に記載のとおり、受取り補償金1,225百万円を第2四半期にて特別利益に計上することから、当初予想を上回る見通しとなりました。

平成21年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	10,300	3,200	3,000	1,700
今回修正予想 (B)	10,150	3,150	3,000	2,400
増減額 (B-A)	△150	△50	—	700
増減率 (%)	△1.5	△1.6	—	41.2
前中間期実績 (平成19年9月中間期)	10,232	3,251	2,999	1,487

平成21年3月期 連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	21,200	6,650	6,100	3,500
今回修正予想 (B)	20,900	6,500	6,000	4,000
増減額 (B-A)	△300	△150	△100	500
増減率 (%)	△1.4	△2.3	△1.6	14.3
前期実績 (平成20年3月期)	21,324	6,758	6,202	2,639

(注) 上記予想は現時点で入手可能な情報に基づき当社グループが判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価の切下げの方法)により算定しております。これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

	(単位：百万円)	
	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,383	6,577
受取手形及び営業未収入金	789	1,088
たな卸資産	※1 376	385
繰延税金資産	197	201
その他	640	2,974
貸倒引当金	△14	△16
流動資産合計	9,372	11,211
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,170	36,500
土地	41,115	41,115
建設仮勘定	4,794	2,355
その他(純額)	387	411
有形固定資産合計	82,467	80,383
無形固定資産		
借地権	6,966	6,966
その他	355	294
無形固定資産合計	7,321	7,261
投資その他の資産		
投資有価証券	14,084	13,242
繰延税金資産	3,479	3,694
その他	2,552	2,550
投資その他の資産合計	20,116	19,487
固定資産合計	109,905	107,131
資産合計	119,277	118,343

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	152	242
未払金	651	1,060
短期借入金	16,825	18,005
1年内返済予定の長期借入金	1,928	1,928
未払法人税等	716	1,153
賞与引当金	52	87
その他	2,541	2,243
流動負債合計	22,869	24,720
固定負債		
長期借入金	20,059	18,089
長期預り保証金	10,350	10,353
退職給付引当金	180	165
役員退職慰労引当金	199	219
繰延税金負債	9	14
その他	85	115
固定負債合計	30,885	28,957
負債合計	53,754	53,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,768	11,768
資本剰余金	10,083	10,083
利益剰余金	43,605	43,086
自己株式	△394	△393
株主資本合計	65,062	64,545
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6	△354
評価・換算差額等合計	△6	△354
少数株主持分	466	474
純資産合計	65,522	64,664
負債純資産合計	119,277	118,343

(2) 四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

	(単位:百万円)
	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	5,034
売上原価	2,733
売上総利益	2,301
販売費及び一般管理費	※1 588
営業利益	1,712
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	102
金利スワップ評価益	30
持分法による投資利益	13
その他	19
営業外収益合計	167
営業外費用	
支払利息	159
その他	3
営業外費用合計	162
経常利益	1,717
特別損失	
たな卸資産除却損	5
固定資産除却損	0
特別損失合計	5
税金等調整前四半期純利益	1,711
法人税、住民税及び事業税	718
法人税等調整額	6
法人税等合計	724
少数株主損失(△)	△7
四半期純利益	995

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第1四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日	
至 平成20年6月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,711
減価償却費	512
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△34
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△19
受取利息及び受取配当金	△103
支払利息	159
持分法による投資損益(△は益)	△13
固定資産除売却損益(△は益)	0
売上債権の増減額(△は増加)	299
たな卸資産の増減額(△は増加)	8
長期営業貸付金の増減額(△は増加)	2,750
仕入債務の増減額(△は減少)	△89
預り保証金の増減額(△は減少)	△29
未払消費税等の増減額(△は減少)	△333
その他	△254
小計	4,578
利息及び配当金の受取額	110
利息の支払額	△68
法人税等の支払額	△1,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,516
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△2,672
無形固定資産の取得による支出	△64
投資有価証券の取得による支出	△282
保険積立金の積立による支出	△11
その他	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,180
長期借入れによる収入	2,000
長期借入金の返済による支出	△30
自己株式の取得による支出	△1
配当金の支払額	△472
財務活動によるキャッシュ・フロー	315
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	805
現金及び現金同等物の期首残高	6,320
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,125

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	不動産事業 (百万円)	リネンサプライ及びランドリー事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	3,773	462	799	5,034	—	5,034
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	182	11	37	232	(232)	—
計	3,956	473	836	5,266	(232)	5,034
営業利益又は 営業損失(△)	1,759	2	△51	1,709	2	1,712

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間については、在外連結子会社及び在外支店がありませんので、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間については、海外売上高がありませんので、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	
※1 たな卸資産に属する資産の科目及び金額は次のとおりであります。	
商品及び製品	98百万円
仕掛品	29百万円
原材料及び貯蔵品	248百万円

(四半期連結損益計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
※1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
宣伝広告費	125百万円
給与手当・福利費	182百万円
賞与引当金繰入額	9百万円
退職給付費用	5百万円
役員退職慰労引当金繰入額	4百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記している科目の金額との関係	
現金及び預金勘定	<u>7,383百万円</u>
計	7,383百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	<u>△257百万円</u>
現金及び現金同等物	7,125百万円

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約)四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

(単位:百万円)

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
I 売上高	5,174
II 売上原価	3,036
売上総利益	2,138
III 販売費及び一般管理費	523
営業利益	1,614
IV 営業外収益	93
V 営業外費用	205
経常利益	1,503
VI 特別利益	11
VII 特別損失	19
税金等調整前四半期純利益	1,495
法人税、住民税及び事業税	553
法人税等調整額	6
少数株主利益	1
四半期純利益	933

(2) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

(単位:百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,495
減価償却費	511
貸倒引当金の増加額	1
賞与引当金の減少額	△ 36
退職給付引当金の減少額	△ 26
役員退職慰労引当金の増加額	4
受取利息及び受取配当金	△ 48
支払利息	130
持分法による投資利益	△ 14
固定資産除売却損益	1
売上債権の増加額	△ 159
たな卸資産の増加額	△ 31
仕入債務の減少額	△ 550
預り保証金の増加額	415
未払消費税等の増加額	115
役員賞与の支払額	△ 17
その他	244
小計	2,035
利息及び配当金の受取額	54
利息の支払額	△ 30
法人税等の支払額	△ 781
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,277
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 960
無形固定資産の取得による支出	△ 9
投資有価証券の取得による支出	△ 1,003
長期保険満期による収入	1
長期保険積立による支出	△ 9
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,982
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	3,500
短期借入金の返済による支出	△ 2,000
長期借入金の返済による支出	△ 30
自己株式の処分による収入	0
自己株式の取得による支出	△ 160
配当金の支払額	△ 406
財務活動によるキャッシュ・フロー	903
IV 現金及び現金同等物の増加額	198
V 現金及び現金同等物の期首残高	5,254
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	5,452

(3)セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前年第1四半期累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(単位:百万円)

項目	不動産事業	リネンサプライ及びランドリー事業	その他の事業	計	消去又は 全社	連 結
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	3,554	469	1,151	5,174	—	5,174
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	183	11	42	238	(238)	—
計	3,738	481	1,194	5,413	(238)	5,174
営業費用	2,189	474	1,137	3,801	(241)	3,559
営業利益	1,549	6	56	1,612	2	1,614

(注) 1. 各事業区分は事業の性質及び売上集計区分によっております。

2. 各事業区分に属する主要な事業内容

セグメント名	主 要 事 業
不動産事業	貸室・展示場・駐車場等の賃貸
リネンサプライ及びランドリー事業	リネンサプライ、ランドリー
その他の事業	衣料・雑貨等商品販売、飲食業、医薬品等製造販売、ビル管理関連サービス、内装請負工事、環境保全及び省エネルギー事業、スポーツクラブ経営、温浴施設経営、情報処理システム開発等

〔所在地別セグメント情報〕

在外連結子会社及び在外支店がありませんので該当事項はありません。